

大泉桜学園の検証資料の取扱いについて

1 検証の基本方針について

学力調査や体力調査等の数値上の結果のみによる比較で検証を行うのではなく、学校の組織的対応や指導の工夫等の変化と児童・生徒の変容との関係を把握することを中心に検証する。検証資料はそれに基づいて収集する。

2 検証資料について

(1) 検証に必要な資料は、上記 1 の基本方針に基づいて収集する。

(2) 各種調査結果や保護者アンケート等について検証資料として活用する場合には、事務局が整理し、大泉桜学園校長と調整したうえで提示する。

(3) 大泉桜学園で実施している学校生活アンケートの調査結果については、下記の学年データを中心に学年別、男女別、卒業小学校別等の比較や個々の児童生徒の回答状況について経年変化を追跡する。

	第4学年	第5学年	第6学年	第7学年	第8学年	第9学年
平成26年6月			○	○	○	○
平成25年6月		○	○	○	○	
平成24年6月	○	○	○	○		

※ I → II、小 → 中、II → III の児童生徒の変容を中心に把握する。

(4) ヒアリングについて

- ・ 教職員等のヒアリングは検証部会とは別に行い、検証部会で使用する資料として事務局がヒアリングの内容を整理する。
- ・ ヒアリングは、調査員と事務局の担当者と実施し、記録用紙への記入で記録する。
- ・ 検証部会における協力委員からのヒアリングは、検証資料を補完するものとして補助的に実施する。

(5) 意識調査について

- ・ 学校評価アンケート、学校生活アンケート、校内研究アンケート等、大泉桜学園で実施している調査やヒアリングで不足する部分を中心に質問項目を設定する。
- ・ 事務局で実施する意識調査の集計結果については、学年別、男女別、卒業小学校別に比較するなどの分析を行う。